

# 61 鳥獣被害防止対策とジビエ利活用の推進

【令和2年度予算概算要求額 12,200 (10,369) 百万円】

## <対策のポイント>

- 野生鳥獣被害の深刻化・広域化に対応するため、**地域関係者が一体となった被害対策の取組**や、**ジビエ利用拡大に向けた取組**を支援します。
- シカによる森林被害の防止に向けて、広域かつ計画的な捕獲のモデル的实施、**捕獲等の新技術の開発・実証**及び**国土保全のためのシカ捕獲等**を行います。

## <政策目標>

- 深刻な農作物被害を生じさせているシカ、イノシシを約68万頭捕獲（狩猟等含め約140万頭） [令和2年度]
- 野生鳥獣のジビエ利用量の拡大

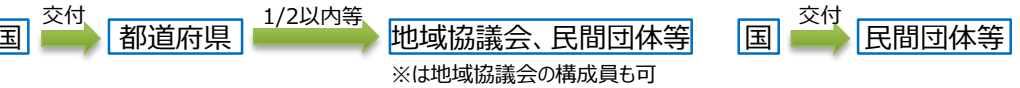
### <事業の内容>

#### 1. 鳥獣被害防止総合対策交付金 11,800 (10,227) 百万円

市町村が作成した「被害防止計画」に基づく取組等を総合的に支援します。

- **侵入防止柵(再編整備含む)**、ジビエ処理加工施設(保冷車等含む)、焼却施設、捕獲技術高度化施設の整備等※ [1/2以内、侵入防止柵の資材費のみ交付対象とする場合は定額支援]
- 地域ぐるみの被害防止活動、ジビエ利用拡大の取組、スマート捕獲、**捕獲現場及びジビエ処理加工現場でのOJT研修**を支援 [1/2以内、取組状況に応じた限度額内で定額支援]
- 都道府県が実施する広域捕獲活動、新技術実証活動等を支援 [2,300万円以内を定額支援]
- 捕獲活動経費の直接支援 [獣種やジビエ利用の有無に応じた上限単価以内で定額支援]
- **高度な衛生管理知識・技術を有するジビエハンターの育成、未利用部位等のペットフード等への活用に向けた新規用途調査等** [定額]
- ジビエの全国的な需要拡大のため、プロモーション等への取組を支援 [定額]
- **捕獲から処理加工段階の情報を関係者が共有できるシステム構築に向けた実証** [定額]

### <事業の流れ>



### <事業イメージ>

〔総合的な鳥獣被害対策〕

侵入防止柵の設置・再編整備や捕獲機材の導入 | 刈り払い等による生息環境管理 | 捕獲活動経費の直接支援

〔ジビエ利用拡大に向けた取組〕

国産ジビエ認証に必要な知識等の習得等による衛生管理の向上 | 金属探知機等衛生管理に必要な設備の導入 | ジビエカジュアル等の導入による、広域からの搬入

モデル地区の取組を横展開

〔スマート捕獲による捕獲の効率化〕

ICTを活用した罠等の実装を通じて、「スマート捕獲」を実現

〔捕獲者、処理加工施設人材育成〕

捕獲現場、処理加工現場でのOJT研修

先輩捕獲者と現場に出ると勉強になるな | 先進的な技術を習得

〔捕獲・ジビエ見える化システム実証〕

捕獲、処理業者とジビエ利用者が情報共有できるシステムの構築

捕獲データ | 処理加工データ

捕獲者 | 捕獲・処理加工 | 食肉処理業者

情報を繋ぐプラットフォーム

トレーサビリティ情報

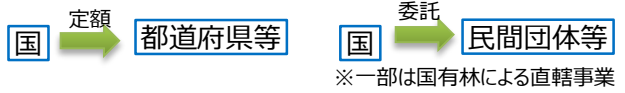
小売・飲食事業者 | 消費者

効率的な捕獲の実現とジビエトレーサビリティの確立

#### 2. シカによる森林被害緊急対策事業 400 (142) 百万円

- シカ被害が深刻な地域等におけるモデル的な捕獲、捕獲手法のマニュアルの整備、森林のシカ被害対策に有効なICT等を活用した新たな捕獲技術の開発・実証等を実施
- 国有林野内の高標高域や奥地天然林等において、効率的な捕獲事業を実施等

### <事業の流れ>



【お問い合わせ先】

- (1の事業) 農村振興局鳥獣対策・農村環境課鳥獣対策室 (03-3591-4958)
- (2の事業) 林野庁研究指導課森林保護対策室 (03-3502-1063)

〔モデル的な捕獲・普及〕 | 〔ICT等を活用した新技術の開発・実証〕 | 〔国土保全のためのシカ捕獲〕

林業関係者への捕獲手法の普及 | 赤外線センサーによるシカ越冬地の探査 | 捕獲により植生への食害・表土侵食を防止